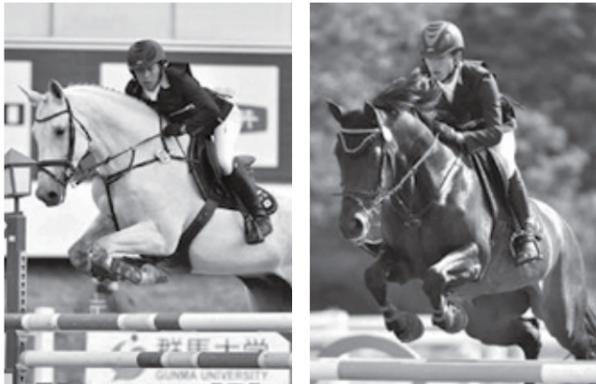


## 史上初 兄弟で表彰台 全日本インカレ馬術大会

11月2日～7日にかけて山梨県で全日本インカレ馬術大会が開催され、障害飛越競技種目で辻区の吉永一篤さん(兄)と、吉永翔司さん(弟)が兄弟でチームを組み優勝しました。個人も翔司さんが2位、一篤さんが3位と兄弟で表彰台へ。

また、「当日はミスをせず丁寧に走行することを意識した」という一篤さんは、総合馬術競技種目の個人・団体両方で見事優勝という快挙を成し遂げました。



愛馬と走り抜ける一篤さん(左)と翔司さん

## 辻区コミュニティ活動の活性化に一役 宝くじ助成事業で屋外無線放送設備を整備

辻区では宝くじの助成事業を活用して、屋外無線放送設備を整備しました。

これは一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業として、宝くじの受諾事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業を活用したものです。これにより地区内の情報伝達が円滑になり、区活動や防災関係の連絡、災害時の迅速な周知が可能となり、コミュニティ活動の活性化が期待されます。



辻区の放送設備

## 3大会で大活躍 真心館少年柔道クラブ

真心館少年柔道クラブのメンバーが、3大会でそれぞれ日頃の稽古の成果を発揮して活躍し、次の戦績を取めました。

- 11月18日 上村春樹旗小川柔道大会(宇城市)
  - ・団体低学年部の部 優勝
  - ・団体高学年の部 3位
- 12月2日 第17回高森町少年柔道大会(高森町)
  - ※小学1～2年生は2人抜き、3年生以上は3人抜きでメダル。次のメンバーがメダルを獲得。
  - ・1年男子の部 土佐勇斗(西合志東小)
  - ・2年女子の部 井本陽(合志南小)
  - ・5年女子の部 中馬場桃葉(西合志東小)
- 12月9日 第46回県下少年柔道錬成大会兼熊日学童オリンピック柔道競技(山鹿市)
  - ・団体女子の部 3位 井本麗(合志南小6年)、五家莉愛奈(西合志南小6年)、下村菜奈美(合志南小6年)

- ・個人
  - ※3人抜きでメダル。次のメンバーがメダルを獲得。
  - ・1年生の部 緒方智一(西合志東小)
  - ・4年生の部 下村修平(合志南小)



①小川柔道大会で入賞した皆さん

②、③学童オリンピックで入賞した皆さん

## 素敵な人生 素敵なパートナー



男女共同参画推進懇話会  
委員 松本 武士

平成11年に男女共同参画基本法が成立して約20年が経ち、男女間や家庭生活の中での女性に対するさまざまなハラスメントが改善されました。

男性の家事・育児への参加協力意識は、最近特に若い世代で高まってきているように感じます。「イクメン」などの言葉が定着し、子ども向けのお話会へも多くの父親の参加が見られるなど、個人間や家族内での男女間格差解消への取り組みは着実に進みつつあるようです。

しかし、日本での女性の社会的地位や待遇の男女格差は世界135カ国中110位と極端に低く、社会的な男女格差解消への取り組みは停滞し続け、早急な見直しが必要です。

さらに、今、私たちが取り組むべき真の社会的格差解消は男女間格差にとどまりません。さまざまな身体的障がいのある人々への対応や、国民の約8%、つまり13人に1人と考えられているLGBT(性同一性障害を含む性的マイノリティ)の皆さんなどへの対応も急がれています。社会的弱者と受け止め、共に歩む意識の醸成と社会環境づくりが必要です。

地球上の動物の中で人類だけが、力による上下関係ではなく、それぞれが対等で尊重され見返りを求めない家族的な集団を形成できるといわれています。

社会全体として、それぞれの個性を尊重し特性を生かしてこそ、真の人間的な社会がつけられるものと思います。

大きな変革は難しいのですが、できれば、地域コミュニティが大きな家族的集団となり、そこに住む人々がお互いに素敵な人生のパートナーと感じられる社会を目指したいものです。

## 環境

## 通信

愛護動物を捨てる(遺棄する)ことは犯罪です

動物の飼い主の責任には、動物を正しく飼い、愛情をもって扱うことだけでなく、最後まできちんと飼うことも含まれます。飼えないからと動物を捨てることは、動物を危険にさらすだけでなく、近隣住民にも多大な迷惑になります。また、近年は日本の自然に生息していなかった外来生物が野外に放たれ、農業被害や生態系破壊が大きな社会問題になっています。

動物の愛護及び管理に関する法律には、動物を捨てたり(遺棄)、餌を与えず衰弱させたりする(虐待)行為などには罰則が定められています。

- ・愛護動物を遺棄・虐待した場合 罰金は100万円以下の罰金
  - ・愛護動物をみだりに殺したり傷つけたりした場合、2年以下の懲役または200万円以下の罰金
- ※愛護動物とは牛、馬、豚、めん羊、ヤギ、犬、猫、イエウサギ、鶏、イエバト、アヒル

その他、人が所有している動物で哺乳類、鳥類または爬虫類に属するものです。

廃蛍光管の出し方に  
注意しましょう

家庭から出される廃蛍光管は、市内17カ所ですて収集を行っています。

廃蛍光管は水銀などの有害物質の飛散を防ぐため、元のケースに入れるか新聞紙などで包み、割れないように工夫して出しましょう。

白熱電球・LED電球、照明器具(分解できないものに限る)は、埋め立てごみで出してください。分解できる照明器具の本体は資源物B、プラスチック製のかさの部分は、資源物Jで出しましょう。

収集日や出し方は、ごみカレンダーを参考にしてください。

